

メトロノーム



発行：函館トロイカ合唱団

メトロノームは団の指針

函館市高盛町 22-7 音鑑事務所 3 F

2018 年 11 月 30 日 発行

HP アドレス

<http://hakotoro.net/>

「2018北海道のうたごえ祭典&第 62 回国鉄のうたごえ祭典inはこだて」

函館市芸術ホールで9月22・23日、8年ぶりに「北海道のうたごえ祭典&第62回国鉄のうたごえ祭典inはこだて」が開催されました。

22日の合唱発表会では、北海道・国鉄のサークル、合唱団延べ57団体が日頃の練習の成果を発表しました。

22日の特別音楽会はゲストに「民族歌舞団 こぶし座」「ソプラノ独唱 佐藤 朋子」を迎え、函館で初めての「国鉄のうたごえステージ」で会場は大歓声につつまれました。

23日の大音楽会では、「鼓隆塾元流派八の会」・「障がい者のステージ」・合唱構成「大間原発NO!」・合唱構成「命を守る 北の鉄路」・「太田 真季（ゲスト）」のステージなど300名を越える出演者で、生きる力、平和の力にみなぎるうたごえを響かせ、会場と一体となり大成功に演奏会を終えることが出来ました。

音楽会には、ご多用中にもかかわらず沢山のみなさまにご来場いただきましてありがとうございました。



また、賛同金やプログラム広告など様々にご協力、ご支援を賜り、お礼申し上げます。

又、祭典後には、皆様から感動の言葉や励ましを頂戴いたしましたことを感謝申し上げます。

函館トロイカ合唱団 団長

大音楽会が終わって

人は、ほほえみ～うたがあふれる～～

♪ 生きて～生きて～生き抜いて ♪ 生きて～生きて～生き通して～

・・・・・・・・・・・・・・・・人間のうた！！

3番の歌詞をアンコールに応じて急遽、歌うことになった私たち、どっどこみ上げるものがあった。会場の中に溢れる感動の渦に引き込まれ、強く震える心で歌っていた、「人間の歌」

あの時の感動は、うたごえ祭典が終わり、通常の生活に戻った今も、頭に焼き付いて離れない。会場とステージが一体化され、うたごえの力を感じた瞬間だったような気がする。

打ち上げでも、多くのうたごえの仲間との大合唱に時間を忘れ、いつまでもいつまでもその余韻に浸っていたいと思っていた。

(アルト M.I)